



県立西会津高校
にしこうみりよくはっしんたい
西高魅力発信隊の皆さん

フフッフ

車麩ラスク
バターシュガー風味

車麩ラスク
ほうじ茶風味

道の駅にしあいづ 駅長
あきお
鎌倉 明雄さん

どちらも
大好評です！



皆さんは、「車麩ラスク」を知っていますか？
これは、西会津高校・西高魅力発信隊の皆さんが町内の
事業者とともに商品開発した、町の特産品「車麩」を使っ
たスイーツです。
今月号では、この車麩ラスクを生み出した西高魅力発信
隊の皆さんと、その関係者に思いを聞きました。

西会津高校生が 商品開発

地元の魅力に気付き、
自ら考え、新しいものを生み出す

西会津高校と
西高魅力発信隊

町内唯一の県立高校である西会津高校は、近年の少子化の影響もあり、年々入学者の減少が続いていました。平成24年度には、一時「分校化」の話が持ち上がるなど、本校としての存続が危ぶまれることもありました。

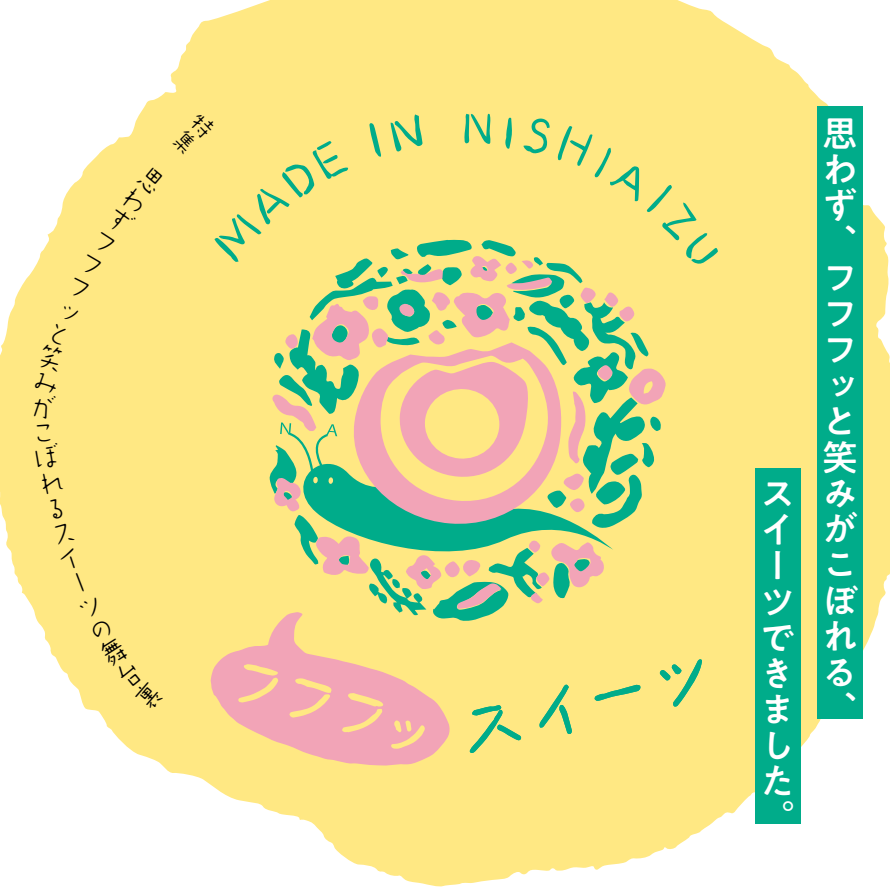
そこで、町では、高校生による新しい取り組みを高校や地域の活性化につなげようと、平成27年度から農商工学連携地域活性化事業（西高魅力発信隊）を開始しました。

この事業は、高校生が地元の良いや町の特産品の魅力を学びながら、地域の事業者と共同で商品開発を目指す活動です。こうした活動を通して、高校生たちの地域への愛着や誇りを醸成するとともに、新しいものを自らの手で生み出すという経験を高校生らの自信につなげ、将来、地域のために力を発揮するような人材の育成を図ることを目的にしています。

西高魅力発信隊の活動と成果

西高魅力発信隊の活動は、本年度で3年目。初年度に「フフッフスイーツ」第1弾となる「車麩ラスク・バターシュガー風味」を発表してから、新聞やテレビに幾度となく取り上げられ、平成28年度には「新しい東北」官民連携推進協議会の「新しい東北」復興ビジネスコンテストで「丸紅賞」を受賞し、さらに日本政策金融公庫の高校生ビジネスプラン・グランプリで県内初の人賞を果たすなど、大きな成果を残しています（ビジネスプラングランプリは平成29年度も入賞）。

また、西高魅力発信隊の活動では、車麩ラスクだけでなく、ミネラル野菜を活用した町の魅力を伝える「カレープロジェクト」や、シイタケ、古代米を活用した「西会津のおむすびプロジェクト」など、地域資源を生かしたさまざまな事業のアイデアが生まれています。



思わず、フフッフと笑みがこぼれる、
スイーツでできました。



アイクラブ
一般社団法人 i.club
Managing Director (代表理事)
ゆう
小川 悠さん

おがわ・ゆう 横浜出身。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。東日本大震災後に気仙沼市を訪れたことをきっかけに「若者の地域離れ」を実感。2012年にi.clubを立ち上げ(2015年一般社団法人化)、教育と産業創出の掛け合わせから「若者の地域離れ」と「地域産業の衰退」の解決を目指す。西会津町のほか、県内各地、宮城県、茨城県、静岡県、三重県においてもさまざまな「地域の高校生からはじまるイノベーションプロジェクト」を展開。町内では、西高魅力発信隊の活動支援のほか、西会津中学校でのアントレプレナーシップ・スクールの講師や、若者まちづくりプロジェクトの指南役も務める。



第23〜25回 パーカーとチラシのデザイン(12月7日・14日・18日)

月16日)

第22回 文化祭の振り返りと今後の方針づくり(11月16日)

第21回 文化祭で商品アイデアの試作を展示し、一般観覧者に向けて商品アイデアを発表(11月1日)

第20回 文化祭展示・発表の準備(9月25日・30日、10月8日・19日・29日)

第16〜20回 文化祭展示・発表の準備(9月25日・30日、10月8日・19日・29日)

第15回 事業者の商品開発への協力を依頼↓丸十製菓本舗(9月14日)

第14回 事業者の商品開発への協力を依頼↓丸十製菓子店(9月7日)

第13回 商品名のデザイン(8月31日)

第10〜12回 商品アイデアの試作(7月31日、8月17日・18日)

第8・9回 商品アイデアの発表、試作(7月20日・21日)

第7回 丸十製菓本舗に車麩に関するインタビュー(7月17日)

第5・6回 道の駅駅長に特産品に関するインタビュー(7月5日・6日)

第4回 デザインの基礎の学習(6月22日)

第3回 町内菓子店にお菓子作りに関するインタビュー(6月15日)

第2回 町内農家にミネラル野菜に関するインタビュー(6月15日)

第1回 オリエンテーション(5月28日)

■平成27年度■

西高魅力
発信隊の
あしあと

車麩

×カケル

アイデアIIイノベーション

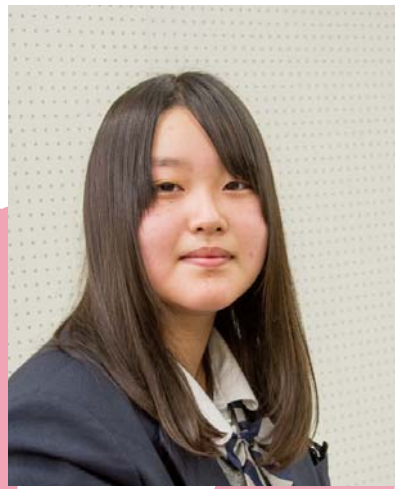
高校生の

イコール

高校生の柔軟な発想が「車麩」の概念を大きく変え、新たな価値を生み出した。

思い描いていた「車麩ラスク」が実際にそこにあることに感動。

もともと絵が好きで、デザインも学べるから、ということでも入部を決めました。最初は西会津町の「いいね探し」から始まり、特産品の車麩を知らない人がいたので、これを使ってみようということになりました。みんなでアイデアを出し合い、試作もし、ラスクにすることに決めました。大変なときもあつたけれど、完成したときには、思い描いていた車麩ラスクが実際そこにあることにとっても感動したのを覚えています。4月からは就職し社会に出ますが、時間を見つけて後輩の活動をサポートできたらと思っています。



西会津高校3年
西高魅力発信隊 前部長
なつみ
渡部 菜摘さん

大事なのは、固定観念を取り除くこと。先入観なしで物事を見る目が養えました。

中学生のときに西会津高校のパンフレットで西高魅力発信隊を知り、入部したいと思いました。活動は、みんなでアイデアを出し合うのが楽しいし、話しながらより良いアイデアにしていく作業が面白いと思います。その中で、大事なものは固定観念を取り除くことだと知りました。いつも新しいアイデアを考えていたので、いつのまにか先入観なしで物事を見る目が養えたような気がします。ちょっととしたアイデアもすぐ浮かぶようになり、自分の意見が言いやすくなりました。



西会津高校2年
西高魅力発信隊 部長
れいか
武藤 怜華さん

高校生の活動を舞台裏から支援

この人がいなければ車麩ラスクは生まれていない？高校生をサポートしたキーパーソン。

楽しいことばかりではないけれど、そういう中で見つけたワクワクは、きっと将来大きな意味を持つ。

「新しい未来をつくるアイデアを出すこと」、それが私の考えるイノベーションの定義で、私は今、「地域の高校生にイノベーション教育を、地域の大人にイノベーションを」をコンセプトに、高校生による商品開発の支援などを行っています。高校生が地元の魅力を生かした新商品を開発することで、地域の良さを再発見するとともに、地元の見

方を変えるきっかけになるのではないかと考えています。こうした取り組みには、町や学校、産業の連携が大切です。西高魅力発信隊の場合は、事業開始の段階ですでにそれぞれの皆さんの気持ちが高まっていて、最後のピースとして私

うと思ったことを覚えています。車麩ラスクは、そうした皆さんの思いが詰まった商品で、それぞれの連携があつたからこそ良いものがつくれたのだと感じています。未来をつくるアイデアを考え、カタチにしていくことは、楽しいことばかりではないでしょうし、つらいときもあると思います。でも、そういう中で、仲間と一緒に見つけたワクワクは、きっと将来大きな意味を持ちます。魅力発信隊のみんなには、そういった気持ちを大切にしてほしいなと思っています。

「若者向け」の商品開発は本当にありがたい。
今まで車麩を口にしたことのなかった人が食べてくれるということは、とてもうれしい。

西会津の伝統を引き継ぎたいと思い、麩作りに関わって22年、時代は大きく変わりました。
もともと車麩は、雪国の人にとっての、冬の野菜の代用品でした。しかし、今では冬場にも野菜が手に入るし、代用の食べ物も多くなりました。ですから、調理にひと手間掛けないといけない車麩は、だんだんと消費量が落ちてきています。
そんな車麩を使って、今回、高校生たちが若い人向けに「車麩ラスク」を商品開発してくれたことは、本当にありがたいと思っています。
今まで車麩を口にしたことのなかった人が食べてくれるということは、とてもうれしいことです。
この先、車麩ラスクが町の名産品として根付いていけばいいなと思っています。



(有) 丸十製麩本舗
みつる 田崎 充さん

普段のお菓子作りはマラソン。でも、車麩ラスク作りは駅伝。みんなの思いをゴールに運ばなければという使命感があります。

正直、ちゃんとしたお菓子になるか最初は少し不安でした。軽い気持ちで受けてしまったのですが、仕上げるまでには結構苦労しました。
お菓子作りは、一人でコツコツ、スポーツで例えるならマラソンのような作業です。でも、車麩ラスクは、高校生が考案し、田崎さんが麩を作って、自分がお菓子に仕上げている。マラソンではなく、駅伝のような感じですね。田崎さんから受け取ったバトン、そしてみんなの思いを、ゴールに向かって持って行かなければという、使命のようなものを感じています。
枠にとらわれず、新しいことにチャレンジすることは大事です。高校生の思いに触れ、初心に戻ったような気持ちですね。自分自身、以前より前向きになれた気がします。



うえの菓子店
としたか 上野 敏貴さん



①初めての販売会後の記念撮影。大好評ですぐに売り切れてしまいました ②丸十製麩本舗の製麩工場を見学 ③地域の若者と一緒にワークショップ ④若手農業者の渡部佳菜子さんにミネラル野菜について聞きました ⑤車麩の製造工程を見学。手の人物は丸十製麩本舗・田崎充さん ⑥車麩ラスクのチラシとパッケージを手に記念撮影。うえの菓子店の上野敏貴さんと ⑦上野尻在住のグラフィックデザイナー・榎崎萌々恵さん、ウィリアム・シャムさんと一緒にパッケージを作成 ⑧いつもメンバーを陰で支えている地域おこし協力隊の荒海正人さん ⑨出来たての車麩



高校生のアイデアをカタチに

どんなに良いアイデアがあっても、実現を手助けしてくれる仲間がいなければ何も始まりません。高校生のアイデアが、町内の事業者や地域の若者の協力によってカタチに！



- 第26〜28回 商品発表会に向けた原稿作り
- 第29回 中間発表会Ⅱ外部の講師者を招いた本番を想定した商品発表会の練習 (2月5日)
- 第30〜33回 商品発表会の発表練習 (2月9日・16日・17日・18日)
- 第34回 商品発表会Ⅱ町長や関係者、メディアなどを招き、車麩ラスク・バターシユガー風味の完成を発表 (2月19日)
- 第35〜36回 先行販売実習Ⅱ音楽イベントの会場や道の駅で商品の販売を実践、計300枚を完売 (2月20日・21日)
- 平成28年度■
- 第1回 全校生徒に向けてオリエンテーション (4月22日)
- 第2・3回 車麩ラスクのお土産パッケージをデザイン (5月12日・16日)
- 第4回〜14回 アイデア想像プログラム・車麩ラスクの新風味の開発Ⅱユニフォームデザイン、車麩ラスクの食べ方の検討、車麩ラスクの新風味の検討と発案 (6月7日)、車麩ラスクの試作 (6月14日・21日)、新風味の報告 (7月5日)、パッケージジ、原稿作り (7月14日)、車麩ラスクの調理 (7月25日)、車麩ラスクのお土産パッケージと新風味の発表練習、発表会 (7月26日・27日)、道の駅にしいづ・ミネラル野菜の家オープンイベントにて車麩ラスクを販売 (8月2日・6日・7日)





高校生の柔軟な発想が町の未来を照らす

西会津高校生が地域の若者や事業者と一緒に考え出した「車麩ラスク」。これまでは水で戻すなどの調理をしてから食べていた「車麩」を、手軽に食べられるスイーツに変化させました。「車麩」の固定観念を見事に打ち砕いたのです。

こうした新しい取り組みが評価され、さまざまなメディアに取り上げられたり、コンテストで入賞したりと、西高魅力発信隊は今、全国から注目されています。

高校生の柔軟な発想をもとに、地域みんながアイデアをカタチにしていく。そんなことが続いていけば、町の未来はきっとさらに明るくなります。先輩から受け取ったバトンを手に、今日も地域の新しい未来を考え、頑張っている生徒たちを、みんなで応援しませんか。

フワフワ

車麩ラスク新風味
フワフワの日
2/22 販売開始!



乞うご期待!

表会（12月13日）
第32〜42回 アイデア実践プログラム・フワフワスイーツ第2弾商品発表会に向けた準備（12月20日・21日・22日、1月17日・24日、2月6日）、発表原稿の確認と発表の練習、準備（2月16日・17日・20日）、新風味発表会で「車麩ラスク・ほうじ茶風味」を発表（2月21日）

■ 平成29年度 ■

絶賛活動中です!



「新しい東北」
復興ビジネス
コンテスト 2016
丸紅賞受賞!
〔「新しい東北」官民連携推進協議会〕

創造力無限大∞
高校生ビジネスプラン
グランプリ
ベスト100に選出!
〔日本政策金融公庫〕



西高魅力発信隊 顧問
ふみこ
永井 富美子先生

この活動が、「西高でしかできない活動」として、この先根付いていけばいいなと思います。

いつも、生徒の楽しそうな表情からドキドキとワクワクをもらっています。心配なときもあるけれど、壁を乗り越えていく姿には刺激を受けます。この活動は、教科書にない学びです。勉強も大事ですが、それ以上に大切なものを学べているのではないかと感じています。生徒たちには、やりたいことを楽しく、自信を持ってやってほしいですね。そして、この活動が、「西高でしかできない活動」として、この先、根付いていけばいいなと思っています。

高校生のアイデアから生まれた新たな魅力。西高魅力発信隊の活躍はまだまだこれから!

特産品 × アイデア // 新たな魅力

カケル
高校生の
イコール

西高魅力
発信隊の
あしあと

第17〜25回 アイデア実践プログラム・車麩ラスクの新風味の開発II中間発表に向けた原稿作り（8月31日、9月6日・13日・20日）、ふるさとまつりでの出店の準備と出店（10月3日・11日・12日・28日・29日・30日）

第26〜31回 アイデア創造プログラム・フワフワスイーツ第2弾IIイントロ・清水屋と交流（11月8日）、丸十製麩本舗で車麩を学ぶ（11月15日）、清水屋の協力のもと新商品を試作（11月22日、12月6日）、新商品のまとめ（12月12日）、ミニ発表会（12月13日）

